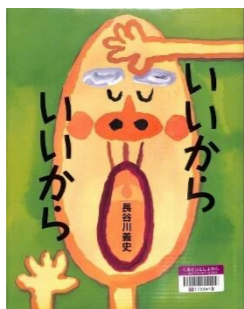


人気のあるたのしい絵本

『いいからいいから①～⑤』 長谷川義史 絵本館

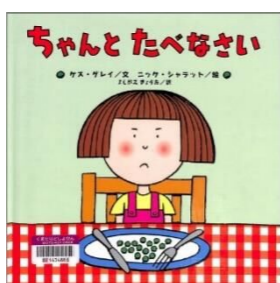
カミナリにおへそとられても、旅館にオバケが出てきても、貧乏神に住みつかれても、ヘッポコ忍者の練習台になっても・・・

「いいからいいから」と唱えてみれば、気持ちが落ち着き子育てバトルは和らくかも？



『ちゃんとたべなさい』 ニック・シャット 小峰書店

なんとかデイズーにおまめを食べさせるため、アイスクリームや夜ふかしで釣ろうとするママ。そんな誘惑にのらずデイズーも言い返す。「ママがメキャベツ食べたらね」子どもの攻略って難しい！シリーズあり。



『へんしんおたまじゃくし』 ひさかたチャイルド

小さなおたまじゃくしに足がはえしっぽが消えて「かえる」になるまでを追った写真絵本。「しぜんにタッチ」シリーズは、物語絵本に興味がない子にもオススメです！
『まんまるだんごむし』
『やさしいはきている』
『どんぐりころころ』他あり。



『す〜べりだい』 鈴木のりだけ PHP 研究所

ユニークでびっくりするようなすべり台が次々登場！！
「す〜べりっぺりったい」「するする べえりべえりだいーん」遊び心いっぱい読んでみてください！
『ぶららんこ』もおすすめ。



図書館へどうぞ

<行事のご案内>

- 親子でリトミック ※町内在住、当日先着 15 組
音楽に合わせて親子で楽しめます。
- ★2歳児～ 毎月第3金曜日（※2月のみ第3木曜日）
午前 11 時 15 分～12 時（受付 11 時～）
※ハンカチをご持参ください（あそびで使います）
場所：図書館2階ホール
対象：2歳以上の子どもと保護者

- おはなしおたのしみ会 ※当日受付
絵本の読み聞かせや手遊びをします。

毎週土曜日 午前 10 時 30 分～11 時

場所：子どもの本のコーナー

※天候等により、イベントを中止することがあります。
当日に図書館のホームページやくまっ子ナビでご確認ください。

開館時間 午前 10 時～午後 6 時
休館日 火曜日（祝日の時はその翌日）
館内整理日（月の最終の木曜日）
年末年始・特別整理期間
問合わせ 熊取町野田 4 丁目 2714-1
TEL (072) 451-2828

https://www.town.kumatori.lg.jp/bunka_sports/shisetsu/library/index.html



♪文庫♪ 町内には、保育園文庫などがあります。
詳しくは、図書館へお問い合わせください。

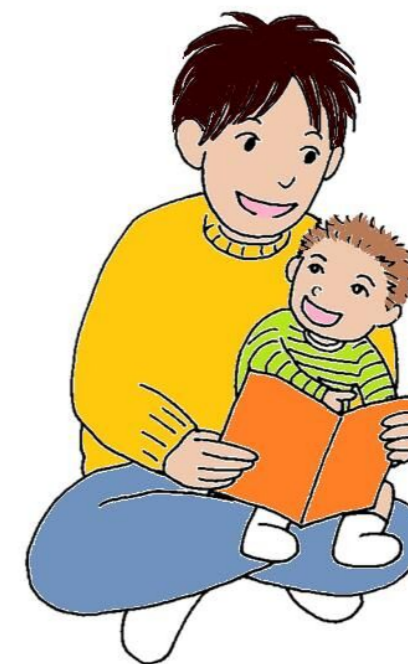
図書館からのご案内

2023. 3 作成

ねえー

えほんよんで！

—3才6か月児健診に来られた方へ—
子どもと楽しむ絵本ガイド



自分でできることが増え、遊びも広がる今の時期。
子どもたちは、おはなしの主人公になって、物語の世界へ入り込んでいきます。
子どもが、想像の世界を夢中になって楽しめる絵本をさがしてみませんか。

熊取町立熊取図書館

ロングセラー絵本はやっぱりおもしろい

長い間、子どもたちに読みつがれてきた絵本には、子どもをひきつける力があります。親子2代で楽しめるのも嬉しいですね。



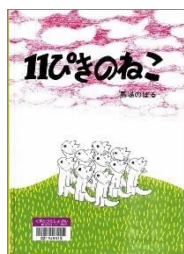
『ぐりとぐら』 おおむらゆりこ 福音館書店

野ねずみのぐりとぐらが森で見つけたのは、大きなたまご。大きくて、ふんわりした、カステラを作ります。



『はらぺこあおむし』 エリック・カール 偕成社

月曜日から土曜日まで あおむしの食べたおいしい食べ物の行列にビックリ！
ミニ絵本からビッグブックまであります。



『11匹のねこ』 馬場のぼる こぐま社

いつもおなかをすかせている 11匹のねこ。じいさんねこに教えられ、湖へ魚をとりに行くことになりました。力を合わせて、大きな魚をつかまえようとしてますが・・・

『三びきのやぎのからがらどん』 マーシャ・ブラウン 福音館書店



三びきのやぎが山の草場へ出かけていきました。ところが、橋の下にはおそろしい怪物・トルルがすんでいて・・・。
昔話らしいダイナミックなお話はなしで、半年間、毎晩この絵本をせがんだ子もいます。

『ゆかいなかえる』 ジュリエット・キプス 福音館書店



卵からおたまじゃくしかかえり、4ひきのかえるになる。かえるたちは、かたつむりのかくしっこをしたり、かめから逃げたり・・・
小さくて地味な本ですが、子どもたちをひきつけます。

たべるのだいすき！

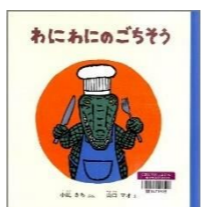
『やさいのおなか』



きうちかつ 福音館書店

野菜を輪切りにした切り絵と「これなあに」という問いかけで始まって、ページをめくると答えが描いてあるクイズのような絵本。
お料理する時 親子で確かめるといいですね。

『わにわにのごちそう』



山口マオ 福音館書店

わにわには おなかがペコペコです。冷蔵庫を開け、材料をだし、エプロンをして料理をしはじめ・・・コワモテわにが主人公の大人気シリーズ第2弾。

『ねずみさんのながいパン』

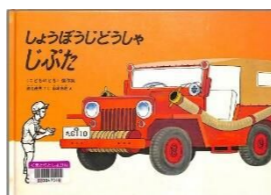


多田ヒロシ こぐま社

ねずみさんは、長いパンをかかえて、どこへいくのかな？いろいろな動物のおうちをとおり、ねずみさんはかけていく・・・

のりものだいすき！

『しょうぼうじどうしゃじふた』



山本忠敬 福音館書店

じふたは古いジープを改良した消防自動車。大活躍のはしご車、高圧車、救急車にくらべ、じふたの出番はボヤの時だけ。そんなある日、山火事が発生して・・・

『かたごとがたごと』



西村繁男 童心社

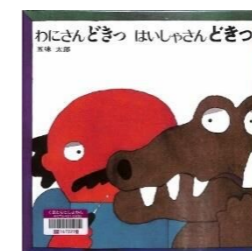
野をこえ山をこえ列車が がかたごとがたごと。駅について おりる人を見れば、あれあれあれ？リズムカルな音のくり返しと乗客の変身がおもしろい！

からだのはなし



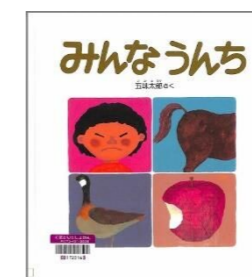
『いーはとあーは』 やぎゆうげんいちろう 福音館書店

歯を見せてちょうだい。いーだとよくてもあーだと、虫歯が見えちゃってるよー。そうなる前に歯をきれいにみがこう！
歯ぶらしはこちょこちょ動かすんだよ。



『わにさんどきっはいしゃさんどきっ』 五味太郎 偕成社

わにさんが虫歯をなおしに行きました。(歯医者さんこわいなあ)
歯医者さんは治療を始めました。(わにの歯こわいなあ)
同じ場面で同じ言葉のゆかいな絵本。



『みんなうち』 五味太郎 福音館書店

さかなも、とりも、むしも、おとなも、こどもも、みんなうち。いろんな形、いろんな色、いろんなにおい・・・
生き物は食べるから、みんなうちをずるんだね。

子どもが、本(文字)の世界にはいって得る利益は、大きく分けて二つあると思います。一つは、そこから得た自分の考え方、感じ方によって、将来、複雑な社会でりっぱに生きてゆかれるようになること、それからもう一つは、育てゆくそれぞれの段階で、心の中で、その年齢で一ばんよく享受できる、たのしい世界を経験しながら大きくなってゆかれることです。

(『新編子どもの図書館』石井桃子/著 岩波書店)